組立・施工説明書 SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ たて連棟

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

改訂
- **W=36 を追加しました**
- **ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ light を追加しました。**

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

チェックシート

組立・取付時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	ねじは確実に締めましたか?	
❷	ねじ頭にシーリングをしましたか？	

注　意

- 商品をご確認のうえ、梁に貼付けの PL ラベルに示す積雪量になる前に、必ず雪おろしを行うことを施主様にご説明ください。
- カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。商品に倒壊のおそれがあります。
- 屋根ふき材 (折板) の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。基礎コンクリートは、４～７日の養生期間が必要です。
- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、眼・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品の運搬、組立て、取付けは相応の人数で行ってください。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。皮膚に直接触れることにより、かぶれが起こるおそれがあります。口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。

本説明書は、「**SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ たて連棟**」の組立・施工について説明しています。

お願い

- 商品を正しく組立・施工してていただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 組立ては、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。
  締付け不良は事故の原因になります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。
- ユニットの組替えなどにより製作する場合は、製作範囲を確認して製作してください。
  製作範囲を超えると事故 (人損・物損) の原因になります。
- 基礎のコンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤など）や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因になります。
- 取扱説明書を施主様にお渡しください。

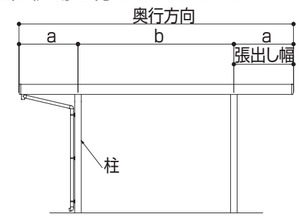
シーリングは必ず実施してください！

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
  シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
- シーリング材は別途手配品です。

シーリングマーク

注　意

奥行方向張出し部のみ切詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪時や暴風時に商品が破損するおそれがあります。
切詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率(a:b:a)になる位置に柱移動を行ってください。



基礎について

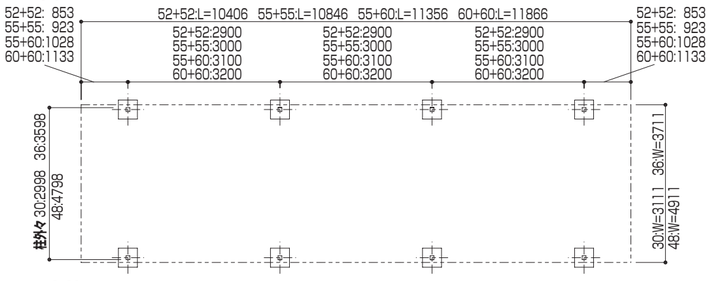
柱の位置決め

お願い

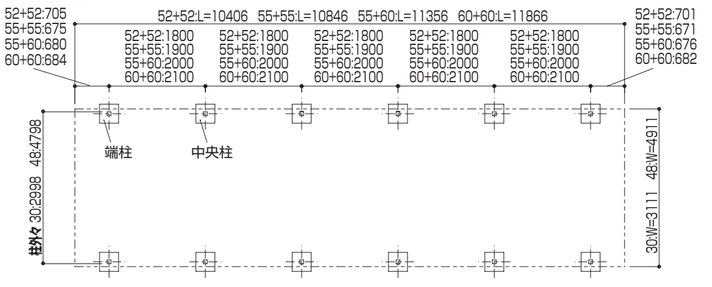
柱位置を決める際、家屋の屋根、軒などに、カーポートが干渉しないように考慮してください。

サイズにより柱角寸法が異なるため、本寸法図は、**柱外々**での寸法を示しています。

■8本柱

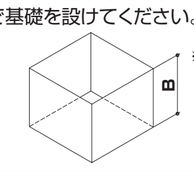


■12本柱



基礎寸法

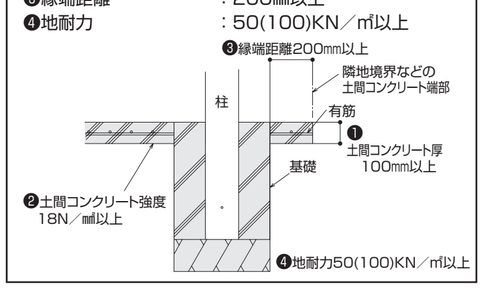
- 基礎寸法は、右表を基に積雪量、柱高さ、本体サイズおよび地耐力に従ってください。
- 基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。
  ②の場合は、『土間コンクリート考慮の基礎条件』を満たしていることを確認してください。
- 寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



※B寸法
SSポートGⅡ：500㎜以上
ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ：550㎜以上

土間コンクリート考慮の基礎条件

❶土間コンクリート厚　:100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度:18N／㎟以上
❸縁端距離　　:200㎜以上
❹地耐力　　:50(100)KN／㎡以上



■SSポートGⅡ

積雪量	柱高さ H[mm]	呼称奥行 L	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	端柱	独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル有 中央柱	端柱	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ― 中央柱	端柱	地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無 中央柱	端柱	サイドパネル有 中央柱	端柱
100cm Aタイプ	2355 (2500) (3000)	JL55・55-W30	8	510		620(760)		510		390		390(430)	
		JL55・60-W30		540		660(800)		540				390(450)	
		JL60・60-W30											
		JL52・52-W48 ※1		610		610(730)		610		400		400(410)	
100cm Bタイプ	2355 (2500) (3000)	JL55・55-W30	12	450	430	520 (640)	510 (630)	450	430	390	390	390	390
		JL55・60-W30											
		JL60・60-W30											
		JL52・52-W48		560	490	560 (670)	490 (570)	560	490				
150cm	2355 (2500) (3000)	JL55・55-W30	12	540	520	540 (640)	520 (630)	540	520	390	390	390	390
		JL55・60-W30											
		JL60・60-W30											
		JL52・52-W48		680	600	680	600	680	600	460	400	460	400

■ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ

積雪量	柱高さ H[mm]	呼称奥行 L	柱本数	①独立基礎 地耐力：50KN/㎡ サイドパネル無	サイドパネル有	②土間コンクリート考慮基礎 ※2 地耐力：50KN/㎡ ―	地耐力：100KN/㎡ サイドパネル無	サイドパネル有
30cm (light) 50cm	2305 2450 (2950)	JL55・55-W30	8	440	570(700)	440	390	390(430)
		JL55・60-W30		460	610(740)	460		390(460)
		JL60・60-W30						
		JL55・55-W36		480	580(710)	480		390(430)
		JL55・60-W36		500	620(750)	500		390(460)
		JL60・60-W36						
		JL52・52-W48		540	590(710)	540		390(490)

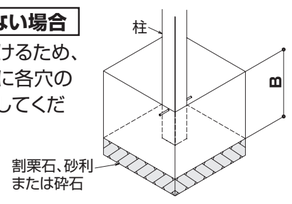
※1：(　)内寸法は、セミハイルーフ柱H2500・ハイルーフ柱H3000の場合
※2：②土間コンクリート考慮基礎(50KN／㎡)の場合、サイドパネルの有無による基礎の大きさに違いはありません。

基礎部の施工

❶「**基礎について・寸法図**」を参考に柱埋込み位置を決めてください。
❷**基礎寸法**を参考に穴を掘ってください。
❸割栗石、砂利または砕石を敷き詰め必ず突き固めてください。

柱を切断しない場合

❹水勾配を付けるため、下表を参考に各穴の深さを調整してください。



柱を切断しない場合の埋込み深さB

■SSポートGⅡ

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	水上側			水下側
4	52+52	500	550	600	650
	55+55				
	55+60				
	60+60				
6	52+52	500	530	560	590	620	650
	55+55						
	55+60						
	60+60						

■ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	水上側			水下側
4	52+52	550	600	650	700
	55+55				
	55+60				
	60+60				

同梱一覧

■柱　GCD-(DS)A24#

品名	柱
品番	―
個数	2

■梁　GCD-(DS)B####

品名	梁
品番	―
個数	1

■柱　GCD-(DS)A####-1

品名	柱
品番	―
個数	1

■ルーフボルト　GCD-(DS)R#

品名	ルーフボルト	ボルトキャップ
品番	5K-10043	2K-35365
姿図		
GCD-(DS)R1	4	4
GCD-(DS)R2	5	5

■鼻隠し(側面)　GCD-(DS)C##V-##

品名	鼻隠し
品番	―
個数	2
備考	(側面)

■たて樋　GCD-(DS)KT##N

品　名	たて樋(L寸法)
品　番	2K-38903
姿　図	
GCD-(DS)KT07N	1(700)
GCD-(DS)KT13N	1(1300)

■部品(横材取付用)　GCD-(DS)HB##-VA

品　名	横材ブラケット	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	6K-17201	ET-5010
姿　図		
GCD-(DS)HB02-VA	2	16
GCD-(DS)HB04-VA	4	32
GCD-(DS)HB08-VA	8	64
GCD-(DS)HB12-VA	12	96
備　考	―	横材取付用

■鼻隠し(前後)　GCD-(DS)D##V-##

品名	鼻隠し	鼻隠し	たて樋
品番	―	―	2K-38903
姿図	―	―	
個数	1	1	1
備考	(水上側)	(水下側)	L=3000

■部品　GCD-(DS)EJ#-# [H] V-##

品　名	柱アンカー	梁キャップ			柱・梁連結金具		裏板	柱キャップ	スペーサー	鼻隠し連結金具	鼻隠し連結カバー	止水板		コーナーキャップ
品　番	K-11711	2K-36089	2K-36090	2K-36091	5K-11168	5K-11169	5K-11171	5K-11172	5K-11173	3K-18989	6K-12759	6K-12757	6K-12758	2K-39379
姿　図														
GCD-(DS)EJA-4 [H] V-##	8	8	–	–	8 [–]	– [8]	16	– [8]	–[8]	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJA-6 [H] V-##	12	12	–	–	12 [–]	– [12]	24	– [12]	–[12]	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJB-4 [H] V-##	8	–	8	–	8 [–]	– [8]	16	– [8]	–[8]	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJB-6 [H] V-##	12	–	12	–	12 [–]	– [12]	24	– [12]	–[12]	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJC-4 [H] V-##	8	–	–	8	– [8]	8 [–]	16	8 [8]	–	4	2	1	1	4
GCD-(DS)EJC-6 [H] V-##	12	–	–	12	– [12]	12 [–]	24	12 [12]	–	4	2	1	1	4
備　考	L=200㎜	150用	250用	280用	□120柱および□130柱(t=5.5)用	□130柱(t=2.6、3.4)用	–	–	–	–	–	L	R	–

■タイトフレーム　GCD-(DS)F##-##

品　名	タイトフレーム	タイトフレーム	折板取付ナット	ルーフボルト	ボルトキャップ		トラスタッピンねじ (φ5×10)
品　番	4K-19023	4K-19024	4K-19025	5K-10043	2K-35365		ET-5010
姿　図							
GCD-(DS)F30-4	4	8	32	4	32	4	40
GCD-(DS)F30-6N	6	12	48	–	48	–	60
GCD-(DS)F36-4	4	10	38	5	38	5	48
GCD-(DS)F48-4	4	14	50	7	50	7	64
GCD-(DS)F48-6N	6	21	75	–	75	–	96
備　考	端部	中間部	–	–	タイトフレーム用	ルーフボルト用	タイトフレーム取付用

品　名	穴塞ぎシール	ドレイン	穴隠し	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	座金組込六角ボルト (M10×20)	六角ボルト (M10×30)	六角ナット (M10用)	スプリングワッシャー (M10用)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	中トラスタッピンねじ (φ4×25)	なべドリルねじ (φ4×19)	組立・施工説明書
品　番	K-41844	K-36979	K-36980	EA-F1	2K-38866	3K-18992	SBH-M10030	N-M10	SW-10	ET-5010	BM-4025GD8	DN-4019B-SC	–
姿　図													
GCD-(DS)EJA-4 [H] V-##	2	1	1	1	1	32	32	32	32	16	32	66	1
GCD-(DS)EJA-6 [H] V-##	2	1	1	1	1	48	48	48	48	16	44	42	1
GCD-(DS)EJB-4 [H] V-##	2	1	1	1	1	32	32	32	32	16	32	74	1
GCD-(DS)EJB-6 [H] V-##	2	1	1	1	1	48	48	48	48	16	44	50	1
GCD-(DS)EJC-4 [H] V-##	2	1	1	1	1	32	32	32	32	16	32	74	1
GCD-(DS)EJC-6 [H] V-##	2	1	1	1	1	48	48	48	48	16	44	50	1
備　考	φ10	–	–	–	–	柱・梁連結用	柱・梁連結金具取付用			ドレイン・穴隠し・鼻隠し連結カバー取付用	梁キャップ・止水板取付用	その他	–

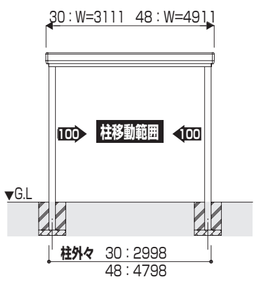
[　] は、ハイルーフ柱H3000の場合

寸法図 (単位：mm)

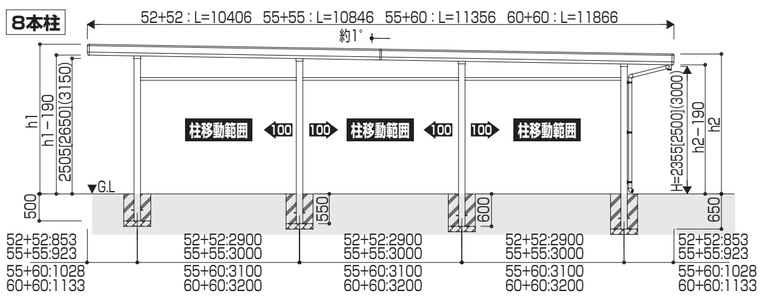
■SSポートGⅡ

積雪量	柱本数	呼称奥行 L	h1	h2
100cm Aタイプ	8	52+52	2890 [3035] (3535)	2717 [2862] (3362)
		55+55	2767 [2812] (3412)	2586 [2731] (3231)
		55+60	2768 [2913] (3413)	2585 [2730] (3230)
		60+60	2769 [2814] (3414)	2584 [2729] (3229)
100cm Bタイプ	12	52+52	2854 [2899] (3499)	2690 [2835] (3335)
		55+55	2762 [2907] (3407)	2591 [2736] (3236)
		55+60	2761 [2906] (3406)	2591 [2736] (3236)
		60+60	2761 [2906] (3406)	2592 [2737] (3237)
150cm	12	52+52	2884 [3029] (3529)	2720 [2865] (3365)
		55+55	2762 [2907] (3407)	2591 [2736] (3236)
		55+60	2761 [2906] (3406)	2591 [2736] (3236)
		60+60	2761 [2906] (3406)	2592 [2737] (3237)

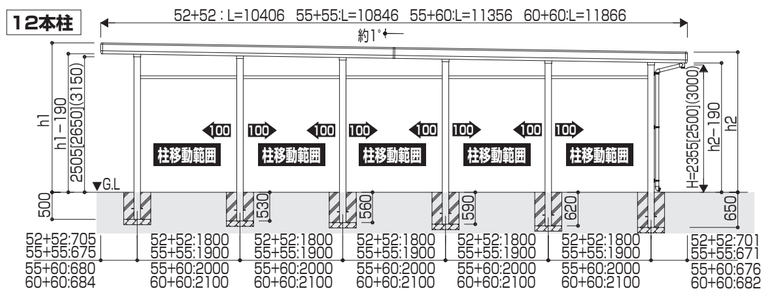
[　]内寸法は、セミハイルーフ柱H2500の場合
(　)内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合



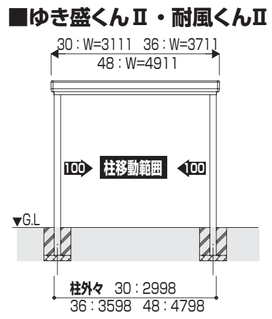
8本柱

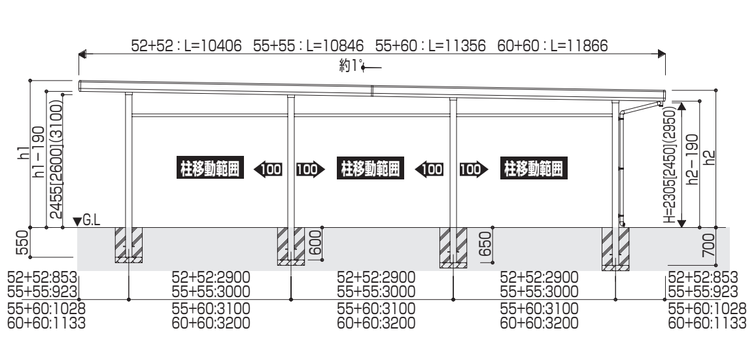


12本柱



■ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ



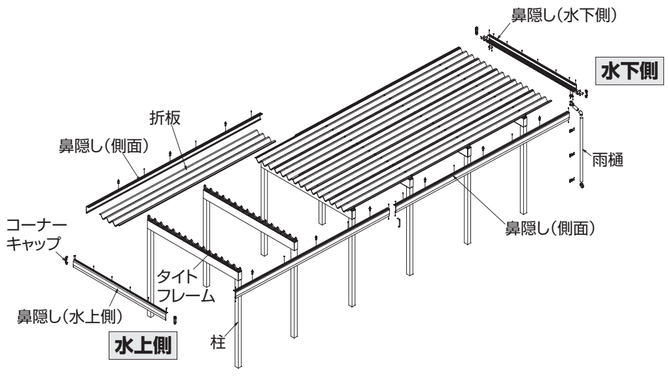


積雪量	柱本数	呼称奥行 L	h1	h2
30cm (light)	8	52+52	2711 [2856] (3356)	2538 [2683] (3183)
		55+55	2717 [2862] (3362)	2536 [2681] (3181)
		55+60	2718 [2863] (3363)	2535 [2680] (3180)
		60+60	2719 [2864] (3364)	2534 [2679] (3179)

積雪量	柱本数	呼称奥行 L	h1	h2
50cm	8	52+52	2811 [2956] (3456)	2638 [2783] (3283)
		55+55	2717 [2862] (3362)	2536 [2681] (3181)
		55+60	2718 [2863] (3363)	2535 [2680] (3180)
		60+60	2719 [2864] (3364)	2534 [2679] (3179)

[　]内寸法は、セミハイルーフ柱H2500の場合
(　)内寸法は、ハイルーフ柱H3000の場合

全体構成図



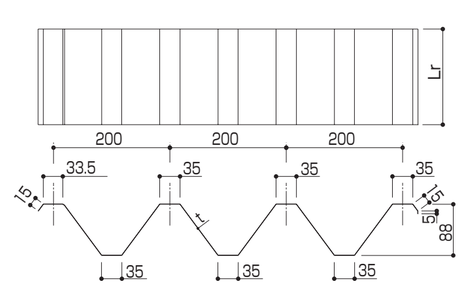
折板詳細

■SSポートGⅡ

積雪量	奥行 L	間口 W	水下側折板 Lr(mm)	t(mm)	枚数	水上側折板 Lr(mm)	t(mm)	枚数
100cm Aタイプ	55+55	30	3990	0.8	5	6990	0.8	5
	55+60	30	4195	0.8	5	7295	0.8	5
	60+60	30	4400	0.8	5	7600	0.8	5
	52+52	48	3820	0.8	8	6720	0.8	8
100cm Bタイプ	55+55	30	4540	0.6	5	6440	0.6	5
	55+60	30	4745	0.6	5	6745	0.6	5
	60+60	30	4950	0.6	5	7050	0.6	5
	52+52	48	4370	0.6	8	6170	0.6	8
150cm	55+55	30	4540	0.8	5	6440	0.8	5
	55+60	30	4745	0.8	5	6745	0.8	5
	60+60	30	4950	0.8	5	7050	0.8	5
	52+52	48	4370	0.8	8	6170	0.8	8

■ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ

積雪量	奥行 L	間口 W	水下側折板 Lr(mm)	t(mm)	枚数	水上側折板 Lr(mm)	t(mm)	枚数
30cm (light) 50cm	55+55	30	3990	0.6	5	6990	0.6	5
	55+60	30	4195	0.6	5	7295	0.6	5
	60+60	30	4400	0.6	5	7600	0.6	5
	55+55	36	3990	0.6	6	6990	0.6	6
	55+60	36	4195	0.6	6	7295	0.6	6
	60+60	36	4400	0.6	6	7600	0.6	6
	52+52	48	3820	0.6	8	6720	0.6	8



1. 組立・施工

1 柱の切断・加工

柱を切断する場合

❶各穴に入る柱を決めてください。
❷穴底からの埋込み深さを測定してください。

ポイント
埋込み深さは、
SSポートGⅡの場合は**500㎜以上**、
ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡの場合は
550㎜以上を確保してください。

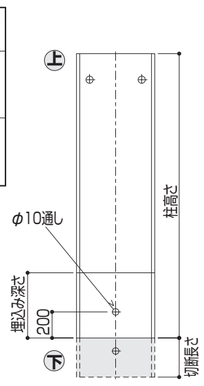
❸測定した埋込み寸法の誤差寸法と屋根勾配(下表参照)を考慮して、各柱の切断寸法を決めてください。

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	柱ピッチ	1ピッチあたりの柱長さの差
4	52+52	2900	50
	55+55	3000	
	55+60	3100	
	60+60	3200	
6	52+52	1800	30
	55+55	1900	
	55+60	2000	
	60+60	2100	

❹各柱の下端を切断してください。

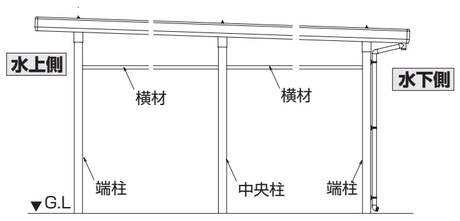
ポイント
アンカー用の穴がある方が下側です。

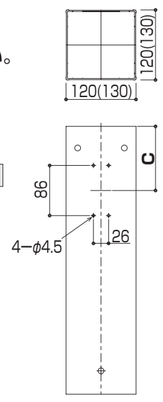
❺柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合は、右図を参考に穴加工(φ10通し)を施してください。



横材を取付ける場合

横材取付位置に穴加工(φ4.5)を施してください。
端柱は片面、中央柱は両面に穴加工を施してください。





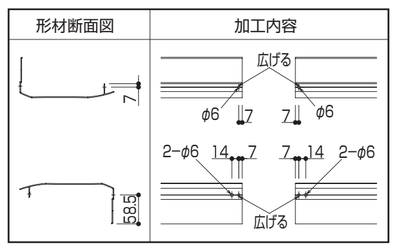
横材取付穴加工位置C

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	水上側					水下側
4	52+52	380	330	280	230		
	55+55						
	55+60						
	60+60						
6	52+52	380	350	320	290	260	230
	55+55						
	55+60						
	60+60						

2 折板・鼻隠し(側面)の加工

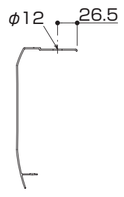
鼻隠し(側面)の連結側に穴加工(φ6)を施してください。
φ5の既設穴はφ6に広げてください。

お願い
- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱にあわせて加工してください。
- サビの原因になりますので、折板から切粉を取り除いてください。
- 折板を重ねた状態で穴加工しないでください。



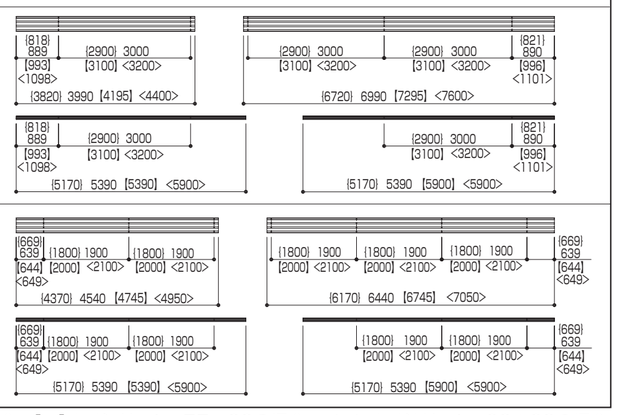
折板と鼻隠し(側面)に穴加工(φ12)を施してください。

鼻隠し(側面)穴加工寸法



お願い
側面から見た柱本数が4本の場合、折板同士が重なりあう長尺方向の柱間中央部にルーフボルト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

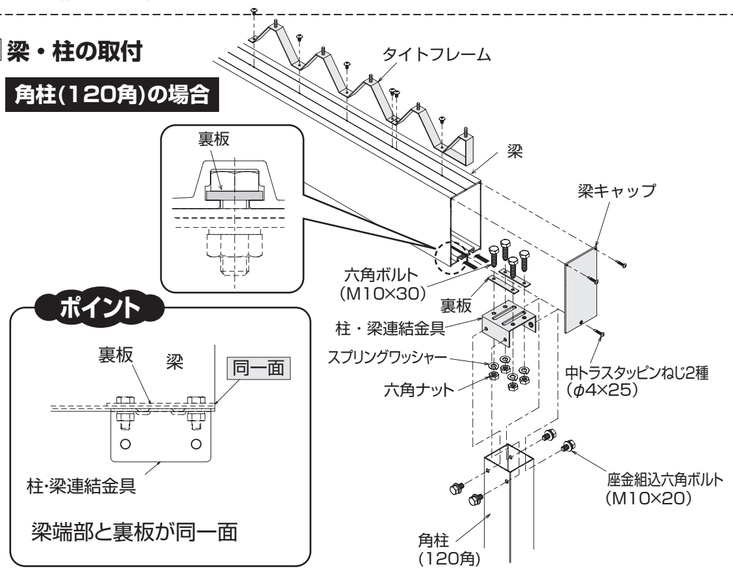
折板・鼻隠し(側面)の加工位置

側面から見た柱本数	呼称奥行 L	折板長さ Lr	加工位置
4	{52+52} 55+55 【55+60】 <60+60>	{3820+6720} 3990+6990 【4195+7295】 <4400+7600>	
6	{52+52} 55+55 【55+60】 <60+60>	{4370+6170} 4540+6440 【4745+6745】 <4950+7050>	

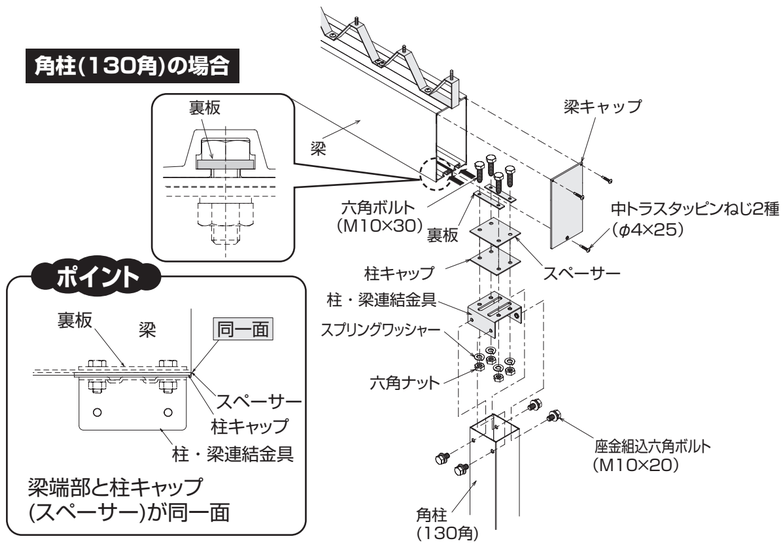
{ }内寸法は、L=52+52の場合、【 】内寸法は、L=55+60の場合、< >内寸法は、L=60+60の場合

3 梁・柱の取付

角柱(120角)の場合

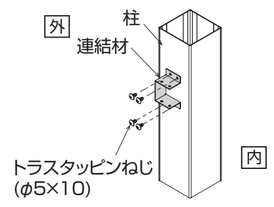


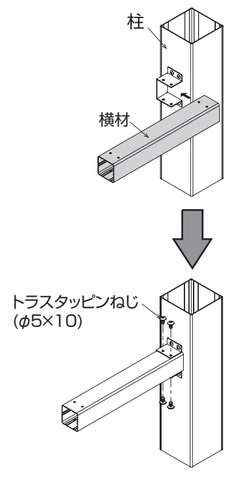
角柱(130角)の場合



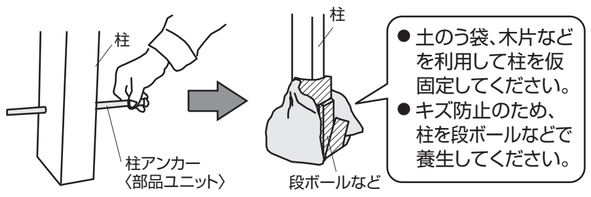
4 横材の取付

❶連結材を柱に取付けてください。
❷横材を連結材に取付けてください。



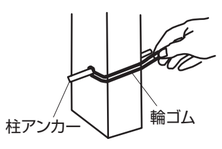


5 コンクリートの打込み



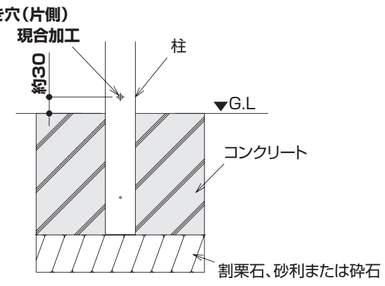
- 土のう袋、木片などを利用して柱を仮固定してください。
- キズ防止のため、柱を段ボールなどで養生してください。

ポイント
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける



お願い
- 基礎コンクリートには、**塩素系の混和剤(急結剤など)や海砂を使用しない**でください。
柱の腐食の原因となります。
- 凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。

φ5水抜き穴(片側)現合加工



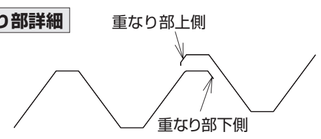
注　意
折板・鼻隠しの取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

6 折板・鼻隠し(側面)の取付

❶折板をのせ、鼻隠し(側面)を取付けてください。

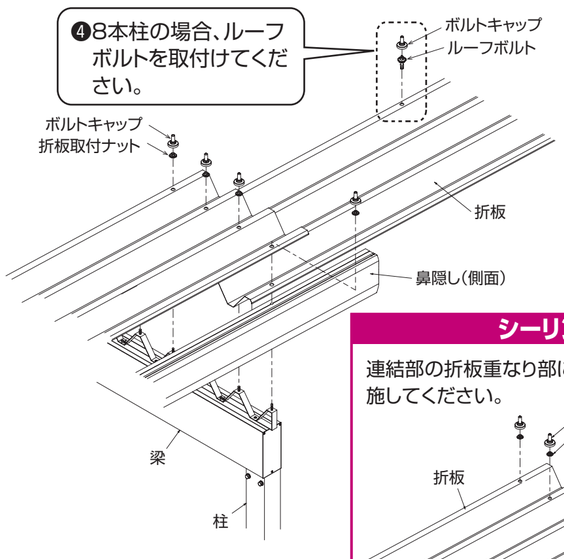
お願い
折板には向きがありますので確認してください。
逆向きに取付けると雨漏りの原因になります。

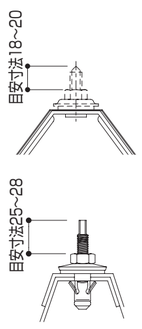
折板重なり部詳細



❷折板取付ナットで固定し、ボルトキャップをたたき込んでください。
❸鼻隠し(側面)と折板をねじ留めしてください。

❹8本柱の場合、ルーフボルトを取付けてください。

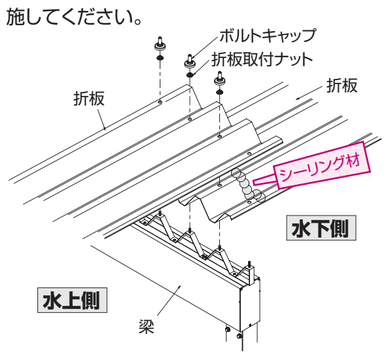




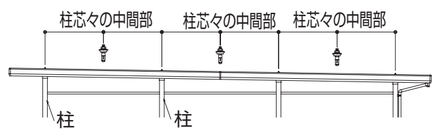
シーリング
鼻隠しねじ留め後、ねじ頭にシーリングを施してください。

チェック❷

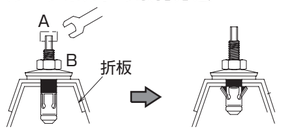
シーリング
連結部の折板重なり部にシーリングを施してください。



● ルーフボルトの取付位置
折板同士が重なりあう柱芯々の中間部にルーフボルトを取付けてください。

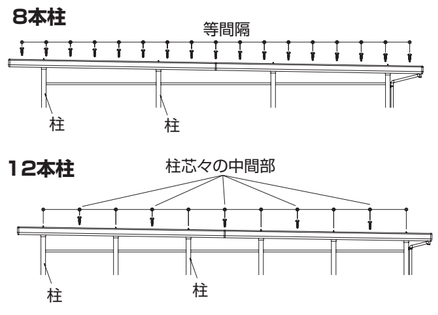


● ルーフボルトの取付方法

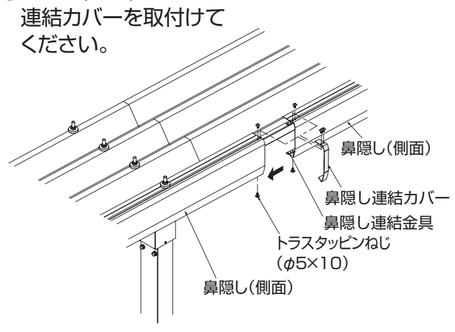


A部をスパナなどで固定しながらBボルトを締め付けてください。

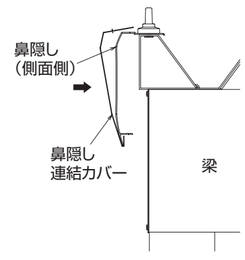
●鼻隠し(側面)ねじ留め位置



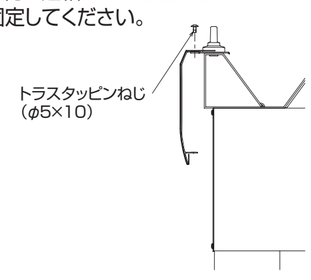
❺鼻隠し(側面)を鼻隠し連結金具で連結し、連結カバーを取付けてください。



①鼻隠し連結カバーを鼻隠しにはめ込んでください。

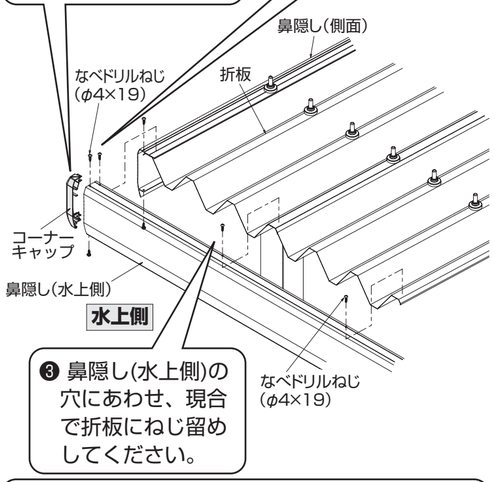


②鼻隠し連結カバーをねじで固定してください。

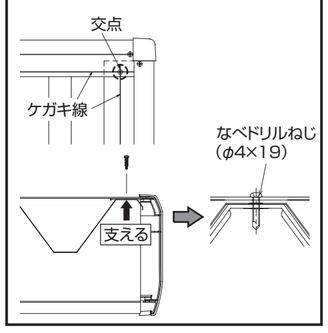


7 鼻隠し(水上側)の取付

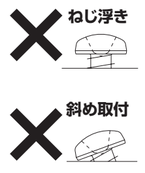
❶ 鼻隠し(水上側)にコーナーキャップを取付けてください。
❷ 鼻隠し(水上側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)とねじで連結してください。
❸ 鼻隠し(水上側)の穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。



お願い
ねじ固定位置は鼻隠しのケガキ線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取付けが不十分な場合、漏水の原因になります。

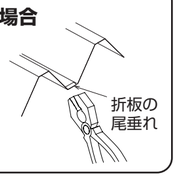


お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。



チェック❶

● 屋根勾配が推奨値より緩くなった場合
軒先尾垂れを加工してください。
加工しないと、折板の下面に水がまわり込んでくるおそれがあります。

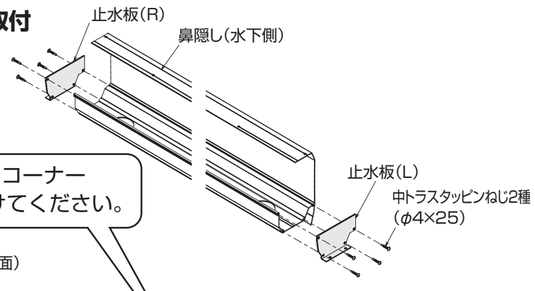


シーリング
ねじ留め後、ねじ頭にシーリングを施してください。雨漏れの要因になりますので、特に水上側ねじ頭のシーリングは確実に行ってください。

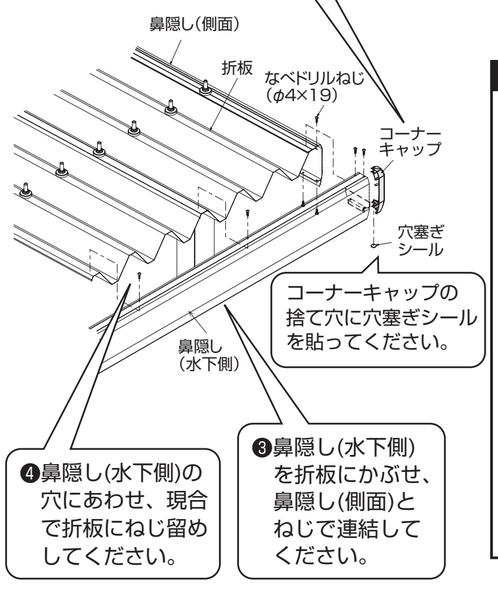
チェック❷

8 鼻隠し(水下側)の取付

❶鼻隠し端部に止水板を取付けてください。

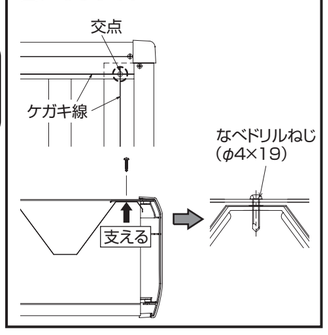


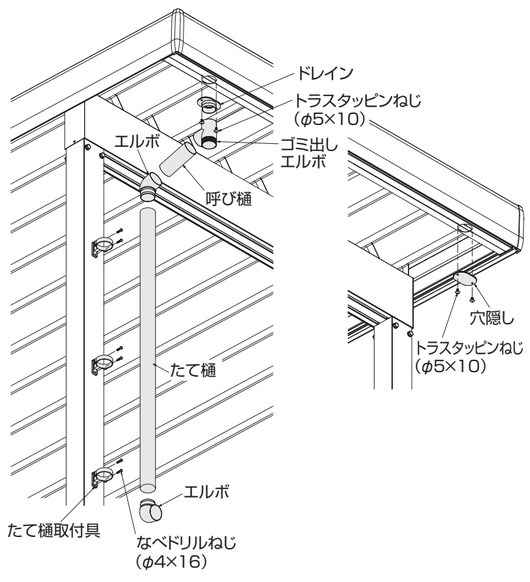
❷鼻隠し(水下側)にコーナーキャップを取付けてください。



❸鼻隠し(水下側)を折板にかぶせ、鼻隠し(側面)とねじで連結してください。
❹鼻隠し(水下側)の穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

お願い
ねじ固定位置は鼻隠しのケガキ線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。取付けが不十分な場合、漏水の原因になります。



2. 雨樋の取付

接着剤にて順次組立ててください。